

東日本大震災から10年を迎えて

わが国に甚大な被害をもたらした東日本大震災の発災から、明日でちょうど10年を迎えます。

ここに、改めて、犠牲となられた方々とそこそご遺族の皆様に対し、哀悼の意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

今なお、全国では約4万1千人、富山県内では123人の方々が避難生活を余儀なくされております。

引き続き、被災地の本格復興に向け、被災地や被災者の皆さんの心に寄り添って、幅広い県民の皆様のご尽力、ご協力をいただきながら、被災地の自治体への応援職員の派遣など、できる限りの支援を行ってまいります。

また、富山県としては、東日本大震災や福島第一原発事故、その後発生した熊本地震や西日本豪雨、令和2年7月豪雨などの教訓を十分に活かして、県民の安全・安心の確保に真摯に取り組んでまいります。

令和3年3月10日

富山県知事 新田 八朗